

令和5年度 第1回 宗岡第二中学校区3校合同学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和5年7月18日(月) 15:00～16:30

2 場 所 志木市立宗岡第二中学校 図書館

3 出席者

津田 美奈	若杉 一輝	大熊 克範	新井 京子
小木曾 久美子	内田 義明	坂田 章法	中林さゆり
渡辺 進	伊奈 達也	四ノ宮 佳代	濱平 穰
隅田 由香利	細田 颯治	神谷 惣治	田中 孝幸
本間 健	木下 和夫	那須 博志	渡邊 雄一
伊藤 大輔			

事務局 宗岡第二中学校教頭

(計21名)

4 協議内容

(1) 宗二中生徒会執行部のプレゼンテーションに基づいた学園名選定について

- ・いろは樋を作った白井武左衛門は宗岡の方。だから「宗岡いろは学園」がよいのではないか。
- ・「いろは学園」は志木の他の中学校区と被るのではないか。
- ・小中一貫を推進していくうえで“夢”というキーワードが大切なのではないか。
- ・この中学校区の子供たちは、せせらぎの小径で遊び育った子が多い。また、低学年の子供たちが名前を書くことを考えると、平仮名がいいのではないか。夢や彩共進は中高一貫ならよいが、小中一貫には馴染まないと思う。
- ・スムーズに小学校と中学校が合流することを考えると平仮名表記の「宗岡せせらぎ学園」や「宗岡いろは学園」がよい。
- ・宗岡地区には60年ぐらい前は何もなかった。新河岸川は透明で、お店は1つもなかった。せせらぎの小径で田んぼの水量調節をしていた。
- ・名づけの親の思いが引き継がれていく名前であるべきだと思う。そう考えると、“せせらぎ”や“いろは”は目標がとらえにくい。ただ覚えやすさ、読みやすさを考えると平仮名も外せない
- ・「宗岡せせらぎ学園」は小さな川から大海原に流れていくイメージで、小中学校の子供たちの成長と結びつきやすい。
- ・「宗岡夢の彩学園」は未来に羽ばたいているイメージがもてる。
- ・「宗岡共進学園」は野球の強豪校のような名前という印象がある。
- ・「宗岡せせらぎ学園」「宗岡いろは学園」のひらがな表記に好感がもてる。特に、前者の名称にある“せせらぎの小径”は小中の2校を繋げるシンボルでもあるし、中学生のプレゼンの中で、“笑顔”のイメージも込めているということもよい。

司会：みなさんの意見をまとめると、

①宗岡せせらぎ学園②宗岡夢の彩学園③宗岡いろは学園④宗岡共進学園
ということではよいのではないかと思います、いかがでしょうか。

賛成の場合は拍手をお願いします。（拍手）

では上記の通り、志木市教育委員会に提出をすることを御承認いただける方は、拍手をお願いします。（拍手）

(2) 推進計画について

〔事前〕中間報告との変更点（p9(7)(8)）について説明（小木曾校長）

・ p9(8)「信頼できる大人」の文言について

「信頼できる大人」だと、人によっては対象が変わってしまうので「地域の大人」という言葉に変更したほうがよいのではないか。

司会；今のご意見に御承認いただける方は拍手をお願いします。（拍手）

他にご意見はありますか。（なし）

ご承認いただいたので、教育委員会に提出させていただきます。

5 連絡事項

宗岡第二中学校区における、今後の小中一貫教育推進に係る予定連絡